

市報

やまぐち

2012

11/1

November
No.170

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp

いっしょに本を読もう

P.2

大きなりんご採れたよ!!「あとう観光りんご園」



くたもの いっしょに本を読もう —ブックスタートを体験しませんか?—

「ブックスタート体験会」

1歳未満の赤ちゃんを対象にした本の読み聞かせ会を図書館スタッフが市内全域を巡回して開催しています。対象者には約2週間前に案内状をお届けしています。詳しくは中央図書館まで。
☎ 083-901-1040

本は、子どもの成長過程で、言葉を学んだり、表現力や創造力を豊かにするだけでなく、コミュニケーションを円滑にしたり、人間関係の基礎を築くのにも効果があるとされています。

今回は、子どもにとっての本の大切さについてお伝えします。

■問い合わせ 市広報聴課 ☎ 083-934-2753

ブックスタートって何?

「ブックスタート」とは、赤ちゃんに絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡す活動で、1992年にイギリスで始まり、日本には平成12(2000)年に紹介され、各地での取り組みが始まりました。

山口市では、母子相談などの機会にあわせて開催し、図書館司書が保護者と赤ちゃんに5冊の推奨絵本を読み聞かせ、その中からお気に入りの1冊をプレゼントしています。

赤ちゃんに理解できるの?

赤ちゃんに読み聞かせをするとき、読み手は、赤ちゃんの表情を見て、話しかけるように読み進めていきます。赤ちゃんが笑うとき一緒に笑ったり、驚くときは一緒に驚いたり、赤ちゃんは安心して、心をゆだねながら絵を見たり、音を聞いたりすることで「言葉」を認識するようになります。

「言葉と話さない赤ちゃんだからまだ本は必要ない」のではなく、将来、豊かな言葉をたくさん話せるように、常に赤ちゃんに優しいまなざしを送り、語りかけることはとても大切なことです。



「読み聞かせ」の効果

読み聞かせは、読み手が寄り添い、子どもの様子をうかがいながら、声を出して読んで聞かせます。

感じたことを言い合うなどお話ししながら、繰り返し読む中で、家族のふれあいが深まる機会にもなります。

成長にあわせた楽しみ方で

テレビや電子ゲームの遊びでは、一方的なスピードで情報を受け止めるだけになりますが、絵本の読み聞かせは、子どもにあったペースで話を聞かせることができます。

乳児期は、主に絵や音感を楽しみますが、成長してあらずしが理解できるようになると、言葉を覚えながら自分の体験と照らし合わせて考え始めます。登場人物の気持ちになって喜んだり悲しんだりしながら、子どもは感性や表現力、想像力を養っていきます。

子どもの成長を感じる機会に

本を読み返すたびに子どもの反応は変化します。ちょっとした変化から「こんなことができるようになったね」と気づき、ほめることで、子どもは「ちゃんと見てくれていた」と、充実感を得ることもできるようになります。

読み聞かせは、「コミュニケーションを深め、家族の信頼関係が自然に培われることにも役立つ」ことです。

おはなししながら読みたいね。

布でできた手作り絵本

絵本には、赤ちゃんが手に持ちやすいコンパクトなものや、図柄が楽しい大型のものなど多種多様なものがありますが、最近、注目されるものに、「布絵本」があります。

味わいある手作りのぬくもり

布の絵本は、ひとつひとつ手縫いで作られています。内容も、布絵本には、主人公のぬいぐるみを動かしながらページをめくり、話が展開していくものや、図書を精巧に写したものなど色々な種類があります。

手に取ると、布のやわらかな感触と手作りならではのぬくもりが伝わってきて、何回でも繰り返しページをめくりたくなります。



童謡の「どんぐりころころ」が題材になった布絵本。「どんぐり」はスナップで留めてあるので、付け外して遊ぶことができる

やさしい気持ちになります

秋穂図書館で布絵本づくりに取り組む「布絵本の会」代表 田中 隆子さん

毎月第1金曜日に秋穂図書館に集まって、布絵本を作っています。著作権の対応も必要になるので、公益財団法人ふきのとう文庫から正規の布絵本専用セットを購入して作成しています。



手作りのものは、気持ちがかもっている分、子どもとの会話も弾みます。特に、布の絵本は見るだけでも気持ちがやさしくなれます。作っている自分たちも癒されているんですよ。



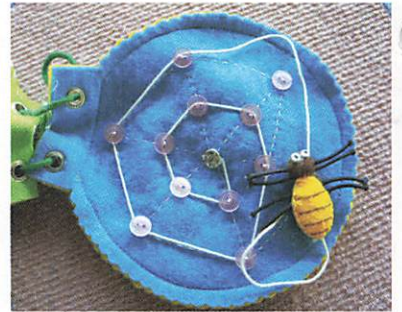
みんなでアイデアを出し合いながら和気あいあいと作業が進む

「遊び」ながら「学ぶ」

布絵本は、ボタンやスナップ、フラスナーなどがふんだんに使われているので、遊びながら自然に手指の動作を学ぶこともできます。

また、視覚に障害のある子どもでも楽しむことができることから、バリアフリー絵本としても注目されています。

色々な昆虫を紹介した布絵本。このページには、クモを動かしながら特徴を学ぶ工夫が



布絵本に出会うには

秋穂図書館には、数十冊の布絵本が、こどもコーナーの一角「おはなしコーナー」にあります。

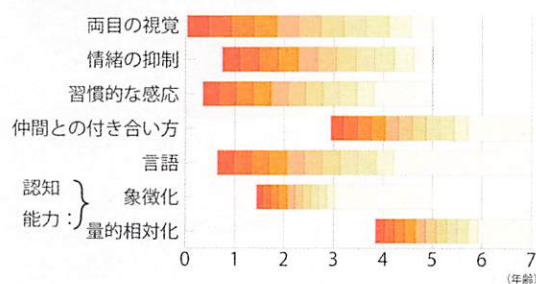
ボランティアグループ「布絵本の会」のメンバーが作った力作で、誰でも手に取り、閲覧できます。ぜひご利用ください。

秋穂図書館のおはなしコーナーに並んだ布絵本。色とりどりのフェルトや布を使い、どれも一針一針丁寧に作られている



ちよっぴり豆知識

脳の発達：重要な時期



出典：ユニセフ「世界子供白書 2001」

読み聞かせと脳の関係

ものを考えたり感じたり、何かを思い出したりするため、脳内の神経細胞であるニューロンは大きな役割を果たしています。このニューロン同士が情報をやり取りする伝達部・シナプスの数は、生後8～10カ月の頃に最高になり、その後は減っていき、使わないとニューロンは死んでしまうそうです。

ユニセフの「世界子供白書 2001」には、3歳までの発達が、その後の学業や、青年期や成人期の性格を左右すると記述されています。

脳が活発に生育をする幼児期に、体のあらゆる感覚器を使い、見たり、聞いたり、さわったりする読み聞かせは、心だけでなく、脳の発育にもプラスの効果があるようです。



子どもの読書、応援しています！

市では、子どもの読書支援の取り組みとして、各地域にある市立図書館をはじめ、移動図書館の運行や、学校図書館、地域交流センター図書室で、身近に本にふれる環境づくりを進めています。

問い合わせ 中央図書館 (☎083・901・1040)

子ども専用のコーナーを設置

各図書館には、乳幼児向けの絵本をはじめ紙芝居や大型絵本などをそろえた児童書コーナーを設けています。

小さなお子さんも利用できるよう、児童スペース、和室などの空間や、授乳室、子ども用トイレなどの設備もありますので、親子で、くつろぎながら本を読んでもいただけます。

子ども向けイベントを開催

小さなお子さんが本に親しみ、読書に関心をもつため、各館で乳幼児から小学生程度を対象にした「おはなし会」(申込不要)を開催し、読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを行っています。他にも、親子で楽しめるイベントを随時開催(※)しています。



おはなし会の様子

※ イベントは、市立図書館の公式サイト(本ページ下段)か、各館(下表参照)へお問い合わせください。

学校の読書環境も支援

学校でも図書館の本が読める

図書館では、小さいころからたくさんの本と出会い、本を好きになる子どもたちが増えるよう、幼稚園や保育園とも連携しています。

また、市立小・中学校に定期的に図書を配送し、学校図書館や学級文庫に活用されています。

ブックトークも開催

司書が小・中学校を訪問し「ブックトーク」を行っています。テーマに沿って本を紹介し、面白くなる読み方などを伝えています。



ティーンズコーナーではライトノベル(若年層向けの小説)がよく読まれている。人気の本は貸し出しが予約待ちになるものも。



ブックトークの様子

本を通じて、豊かな心を育て

いつもそばに本がある環境を

本は、子どもたちの心身の発達に欠かせないものです。次代を担う子どもたちが、成長に応じて色々な本に会えるように、館内に中・高校生向けのティーンズコーナーを設けたり、子ども専用の検索機を設置したりするなど、読書に親しむ環境づくりに努めています。



中央図書館 主幹 瀧本 英正

サービス向上にむけて

図書館は開かれた情報拠点として、すべての市民の皆さんのお役に立つことを目指しています。調べ物や目当ての本を探お手伝いもしていますし、図書館の公式サイトからも蔵書検索や貸出予約ができますので、ご利用ください。

また、来年の夏に阿東図書館も新たにオープンする予定です。これにあわせて共通の利用カード1枚で、すべての市立図書館と「ぶっくん」で本を借りたり返したりできるようになって、便利になりますのでぜひ、図書館に足をお運びください。

市立図書館公式サイト ☎ <http://www.lib-yama.jp/>

【図書館利用案内】

施設名	開館時間		休館日(注)	電話番号
	平日	土日		
中央図書館	10時～19時	10時～17時	火曜日	☎083-901-1040
小郡図書館				☎083-973-0098
秋穂図書館	10時～18時	9時～17時	月曜日	☎083-984-0065
阿知須図書館				☎0836-66-0001
徳地図書館				☎0835-52-0043
阿東図書館	9時～17時	☎083-956-0785		

注) 休館日は、他にも祝日(中央図書館のみ祝日開館)、年末年始、図書整理日、特別整理期間があります。

ぶっくんは移動する独立した図書館なのです

約3,500冊の本を載せ、図書館から距離のある小学校など市内33カ所のステーションを2週間に1回巡回しています。

約3万冊のぶっくん蔵書の中から毎回内容を選び替えているので、図書館にない本に出会えるチャンスも。



のぼり旗が開館の目印



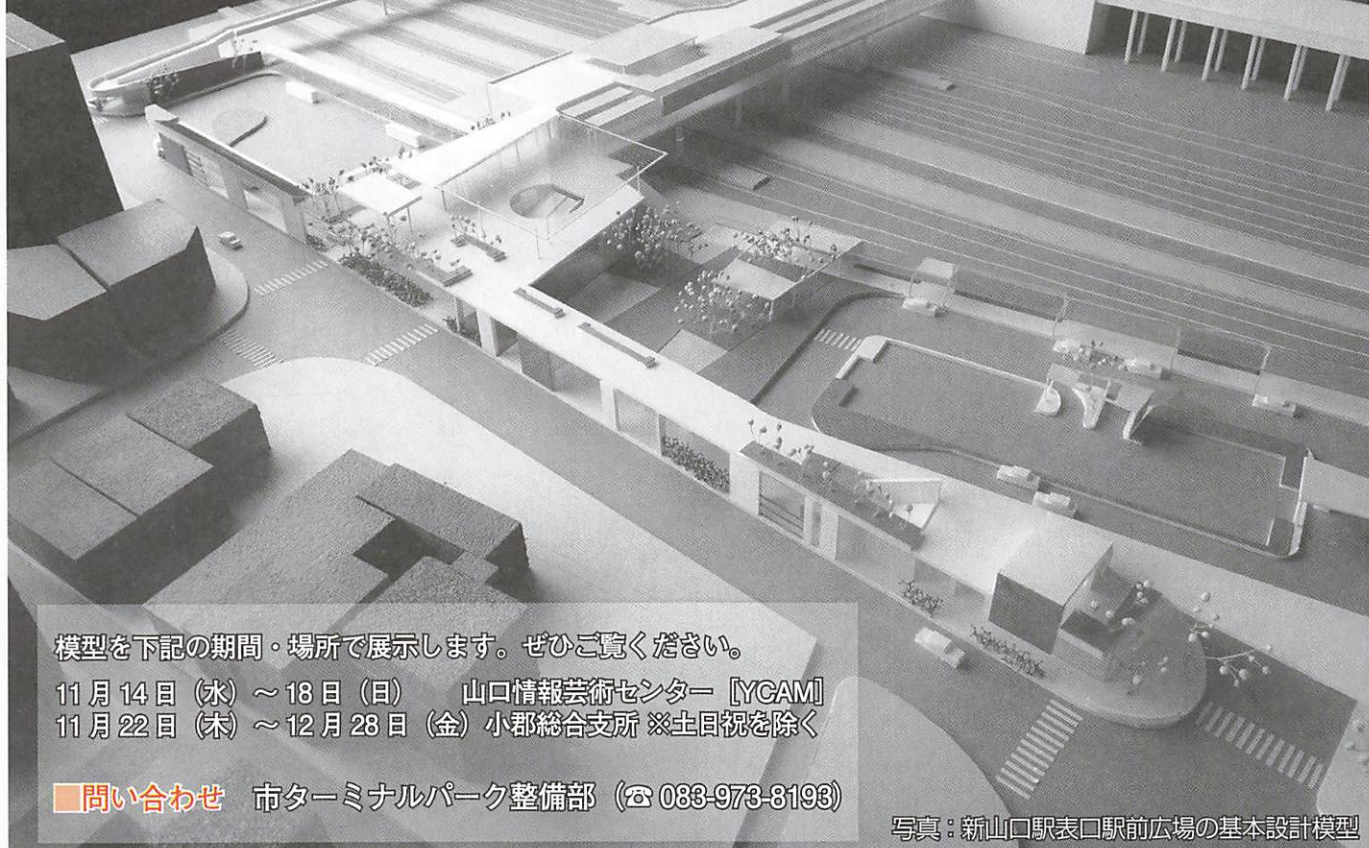
ぶっくん蔵書の専用書庫。毎回ここから選んで巡回しています。

子ども向けの絵本や新刊児童書もたくさん揃えていますので、お気軽にお立ち寄りください。(利用カードは図書館共通)

新山口駅ターミナルパーク整備

新山口駅表口駅前広場

『新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップ』の成果が、表口駅前広場の基本設計としてまとまりました。



模型を下記の期間・場所で展示します。ぜひご覧ください。

11月14日(水)～18日(日) 山口情報芸術センター [YCAM]
11月22日(木)～12月28日(金) 小郡総合支所 ※土日祝を除く

■問い合わせ 市ターミナルパーク整備部 (☎ 083-973-8193)

写真：新山口駅表口駅前広場の基本設計模型

無料
申込不要

「表口駅前広場 デザインフォーラム」

表口駅前広場の基本設計について計画の内容をご説明するとともに、新しい駅前広場でどのような活動が生まれ、広がる可能性があるのか、参加者の皆さんと意見を交わします。ぜひお越しください。

- 日時 平成24年11月18日(日)
14時～16時30分(予定)
- 場所 山口情報芸術センター[YCAM] ホワイエ
- 出演

コーディネーター

内田 文雄 氏

(建築家/山口大学大学院理工学研究科教授)

設計者

宮崎 浩 氏

(建築家/株式会社プランツアソシエイツ代表)

ゲスト(設計者選定プロポーザル審査委員長)

奥山 清行 氏

(工業デザイナー/KEN OKUYAMA DESIGN 代表)

ほか

■問い合わせ

市ターミナルパーク整備部 (☎ 083-973-8193)

報告しまし

市民の意見を基本設計に反映する取り組み
新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップ全6回が終了

9月22日、市民の皆さんとアイデアを出し合って市と県の陸の玄関にふさわしい新しい駅前広場を実現するため、昨年12月から開催してきた「新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップ」の最終回を開催しました。設計者の宮崎浩氏(株式会社プランツアソシエイツ代表)から、ワークショップの成果を基本設計としてまとめた計画について、これまでの経緯や基本的な考え方、意見をどのように整理し計画に取り入れたかなどの説明があり、その内容について話し合いました。参加者からは「意見が反映された

まな機能等について、実現へ向けた仕組みづくりを具体的に議論していくことを予定しています。



ワークショップの様子(小郡総合支所)

内容になっていく」と評価する声が多く聞かれました。

今回でワークショップはいったん終了しましたが、今後は、提案されたさまざまな

まちづくりの健康度チェック

総合計画に沿ったまちづくり

問い合わせ 市企画経営課 (083-934-2747)

本市では、平成19年度に策定した山口市総合計画（平成20年～29年度）に基づいたまちづくりを行っています。平成23年度に実施した各種取り組みにより、本市のまちづくりがどこまで進んでいるのか、あるいは、まちづくりを進めるにあたりどのような課題があるのか、この度公表した「まちづくり達成状況報告書」に掲載している成果指標の達成状況をもとに、市民の皆さんにお知らせするとともに、今後のまちづくり計画の策定についてご紹介します。

診察-A medical examination- （各施策の進捗状況）

総合計画では、まちづくりを8つの政策と、この政策をさらに34の施策に区分しています。各施策の成果が向上するように、毎年度、経営資源（資金、人等）の配分を見直し、効果・効率的に事業に取り組んでいます。

平成23年度は、「協働のまちづくり」と「広域県中核都市の創造」を両輪に据え、本市のまちづくりを着実に進めるために、将来の山口市を「かたち」つくる積極型予算（対前年度比5.7%の増）としました。

限りある資源を有効に活用し、市民の皆さんが実感できる成果をあげるためには、本市の取り組み状況を検証し、改善につながる「評価」が重要です。

そこで、各分野を通じて、360の成果指標を設定し、この成果指標の推移状況により、まちづくりの進み具合を定期的に、評価・分析しています。成果指標の中間目標の達成状況は下記（図1）のとおりです。

「政策」とは、分野ごとの市が目指すべきまちづくりの方向を示すもの、「施策」とは、政策を実現するための手段のことをいいます。

図1 中間目標値（平成24年度）に対する平成23年度の達成状況

	達成状況	達成度70%以上の指標数	22年度との比較
政策（分野）全体		55.3% 199指標	➡ 増加
健康福祉分野		54.5% 36指標	➡ 増加
行政経営分野	😊	56.1% 23指標	➡ 横ばい
教育・文化分野	😊 他分野より良い	63.4% 45指標	➡ 増加
生活安全分野		64.4% 29指標	➡ 増加
都市整備分野	😊 特に良い	67.9% 19指標	➡ 増加
環境分野		69.7% 23指標	➡ 増加
経済・産業分野	😞 頑張っています!!	30.5% 18指標	➡ 増加
自治振興分野		35.3% 6指標	➡ 増加

「まちづくり達成状況報告書」記載の「目標達成度」をまとめたものです。

平成24年度の中間目標値に対する達成状況、いわゆる、これまで4年間の進捗状況を見てみると、全360指標の達成状況は、達成度70%以上が、全体の55%（199指標）と最も多く、次いで達成度30%未満が29%（106指標）、達成度30%以上70%未満が9%（33指標）と続いています。

また、分野別の動きを見てみると、環境分野、都市整備分野では、達成割合が高くなっていますが、経済・産業分野、自治振興分野では達成割合が低くなっています。

それでは、達成割合が低い分野は、どのような評価や課題があるのでしょうか？ 次の「診断結果」で一部抜粋して紹介します。

診察録-Medical record- （経営資源の活用状況）

■経営資源の活用状況

まちづくりの血液ともいえる、人、モノ、資金の経営資源は、財政運営健全化計画や行政改革大綱推進計画に沿って、改善が図られているところです。今後は、行政組織のスリム化、筋肉体質への改善に向けた取り組みに加え、新たな財源（税収）を生み出す都市活力の創造や、市民、民間企業の皆さんの能力が最大限に発揮される基盤づくりができるように経営資源の質を高めるとともに、資源の適正な配分に努めます。

財政調整基金繰入金額 0円 (😊 変わらず)
平成22年度から、財政調整基金を取り崩さない予算編成を行っています。（決算も同様）

経常収支比率 89.5% (😊 0.8%増)
行政内部の徹底的な行政改革に取り組み、人件費等の義務的経費や内部管理経費の削減に努めます。

基金残高 29億4千万円 (😊 3億7千万円増)
中長期的見通しに基づき、将来の財政運営に備えるため、財政調整基金を積み立てます。

職員数の適正化 1,741人 (😊 34人減)

※ () カッコ内は、対前年度比

診断結果 -Diagnostics result-

(平成23年度のまちづくり達成状況報告)



改善の兆し (経済・産業分野)

経済・産業分野は、ここ数年の厳しい経済情勢や、担い手の高齢化など第1次産業の構造的な課題により、全体的に達成状況が低くなっていますが、観光・企業誘致などは、比較的健闘しています。目標達成に向け、今後も引き続き改善を行う必要があります。

政策 (施策)	評価・課題	まちづくりの主体の役割																
経済・産業 (観光) (企業誘致)	<p>観光客数は、「おいでませ！山口国体」等により増加し、中間目標の達成に向けて順調に推移しています。</p> <p>宿泊客数は、増加したものの、中間目標達成に向けてさらなる取り組みの強化が必要です。【約81万人(H23)目標90万人】</p> <p>外国人観光客は、東日本大震災の影響により大幅に減少したものの、平成23年7月以降は持ち直し増加傾向にあります。</p> <p>(湯田温泉旅館協同組合加盟施設のH23.7～H24.3までの外国人宿泊者数は、前年同期比2.4倍の約4千人に増加)</p> <table border="1"> <tr> <td>観光客数</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> <td>中間目標</td> </tr> <tr> <td></td> <td>422万人</td> <td>428万人</td> <td>430万人</td> </tr> </table> <p>😊 あと少し</p> <p>企業誘致は、先端の医療機器を製造する企業など4社の企業立地と343人の雇用創出が実現し、中間目標達成に向けて堅調に推移しています。</p> <table border="1"> <tr> <td>誘致企業数(累積)</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> <td>中間目標</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15社</td> <td>19社</td> <td>21社</td> </tr> </table> <p>😊 あと少し</p>	観光客数	22年度	23年度	中間目標		422万人	428万人	430万人	誘致企業数(累積)	22年度	23年度	中間目標		15社	19社	21社	<p>—市民・地域—</p> <ul style="list-style-type: none"> ●来訪者の満足度を高めるため、まちぐるみで温かく迎え、「また来たい」と感じられるような、受入体制の充実に努めます。 外国人観光客の誘客促進のため、プロモーション活動や受入組織の強化を図ります。 <p>—行政—</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宇部市との観光交流協定の締結など、市域を越えた広域観光連携を推進するとともに、新たな観光ブランドの創出など、交流人口の拡大に向けた取り組みを行います。また、湯田温泉の魅力創造等による宿泊客数の増加を図ります。 ●企業誘致は、引き続き成長産業の積極的な誘致を図るとともに、企業立地を促す優遇策等を検討します。
観光客数	22年度	23年度	中間目標															
	422万人	428万人	430万人															
誘致企業数(累積)	22年度	23年度	中間目標															
	15社	19社	21社															



要強化 (自治振興分野)

核家族化や単身世帯の増加、価値観の多様化、社会全体のコミュニティの希薄化など人々のつながりが弱まっている中、自治振興分野全体の達成割合は今ひとつの状態となっています。今後、人々の生活の場である地域を中心に取り組みを強化していく必要があります。

政策 (施策)	評価・課題	まちづくりの主体の役割								
自治振興 (協働)	<p>市内21地域で、「地域づくり協議会」を中心に、地域主体の取り組みの方向性を示す「地域づくり計画」の策定が進んでいます。また、地域自治強化のために配分した、「地域づくり交付金」(約2.4億円)の活用により、地域の災害に対する安全対策や地産地消B級グルメ審査会など、地域の特色を活かした地域づくりが進められています。「地域活動に参加している市民の割合」は増加しましたが、中間目標には達していない状況となっており、今後、地域づくり協議会活動の周知を図るなど、多くの地域住民を巻き込む工夫や、地域づくり協議会を支えられる人材の育成が求められます。</p> <table border="1"> <tr> <td>地域活動に参加している市民の割合</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> <td>中間目標</td> </tr> <tr> <td></td> <td>36%</td> <td>37.2%</td> <td>45%</td> </tr> </table> <p>😞 頑張ります!!</p>	地域活動に参加している市民の割合	22年度	23年度	中間目標		36%	37.2%	45%	<p>—市民・地域—</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動や地域活動に関心を持って、できることから参加するとともに、住民同士で地域課題を共有し、協力・連携して課題解決に取り組めます。 <p>—行政—</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり交付金のさらなる充実とともに、21地域に配置する「地域担当職員」等による人的支援の強化を図るほか、地域交流センターの整備を計画的に進めるなど、地域自治の仕組みづくりと、それを機能させる地域内分権への取り組みを進めます。
地域活動に参加している市民の割合	22年度	23年度	中間目標							
	36%	37.2%	45%							

処方箋 -A prescription-

(総合計画の見直し)

総合計画の策定時に比べ、少子高齢化や人口減少、経済のグローバル化の進展など、社会経済情勢は大きく変化し、また、東日本大震災を教訓とした、安心・安全意識の高まりなど、新たな政策課題も出てきています。

本市のまちづくり達成状況報告書によると、順調に推移している指標の中にも、高齢化の進展による医療費の増大や待機児童の増加、雇用環境の悪化など個別の課題があります。

こうした、さまざまな課題に対応するため、昨年から、総合計画の見直し作業、いわゆる、まちづくりの処方箋ともいえる「後期のまちづくり計画(平成25年～29年)」の策定作業を進めています。

現在、専門家や公募した民間委員からなる「山口市総合計画策定協議会」で審議いただいた内容や提言、移動市長室でいただいた意見等を踏まえ、都市核の機能強化等広域県中核都市づくりと人々の絆を強める協働のまちづくりを中心に、総合計画後半5年間の本市の主要な取り組みとなる施策横断的なプロジェクト事業等の構築を図るなど、3月の完成を目指して作業を進めています。

「まちづくり達成状況報告書」

詳細は、主要な施策の成果報告書(まちづくり達成報告書)として、市ウェブサイトに(表紙参照)、各総合支所情報コーナー等でご覧いただけます。

平成24年度 山口市の財政公表 と 平成23年度決算に基づく 財政指標の公表

9月30日までに入ってきた金額と使われた金額など、平成24年度上半期の市の財政状況と、平成23年度決算に基づいた財政指標についてお知らせします。

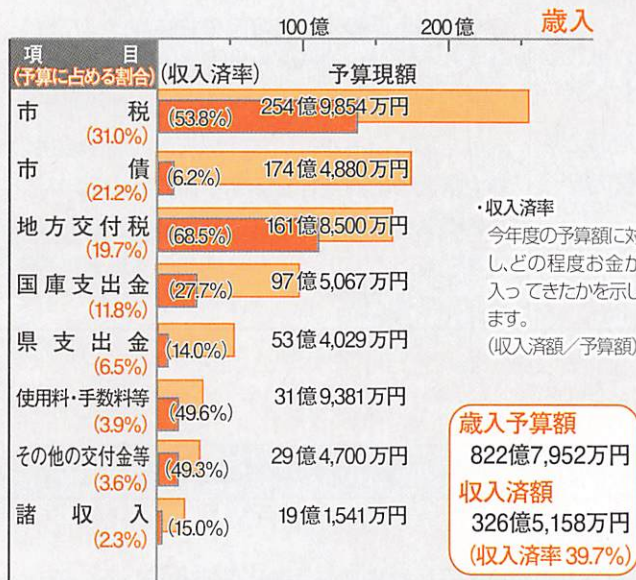
■問い合わせ 市財政課 (☎ 083-934-2750)

財政公表 (平成24年度上半期)

■一般会計の収支状況 (9月末現在)

今年度(9月末現在)の予算は、822億7,952万円 (市民1人当たり約42万円)

※予算現額には、平成23年度からの繰越額69億6,142万円を含んでいます。



※使用料・手数料等は、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金の合計です。

※その他の交付金等は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の合計です。

※「その他」は、議会費、労働費、災害復旧費、予備費の合計です。

当初予算に平成23年度からの繰越額69億6,142万円を含め、821億4,142万円となった平成24年度一般会計の予算は、1億3,810万円の追加補正を行い、9月末現在で822億7,952万円となりました。追加補正の主な内容は、教育研究団体助成事業5,000万円、湛水防除施設維持管理費2,500万円、単県危険ため池整備事業2,450万円などです。

■市債の状況

9月末現在の人口 19万5,820人

区分	9月末現在高	1人当たりの現在高
一般会計	832億1,607万円	42万4,962円
特別会計	59億9,580万円	3万619円
合計	892億1,187万円	45万5,581円
利息	93億4,181万円	4万7,706円
一時借入金	0円	0円

※利息は、利率見直し等により変動します。

■特別会計の収支状況 (9月末現在)

「特別会計」とは、国民健康保険や介護保険など、特定の目的をもって事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計のことです。

(金額の単位：万円)

会計	予算現額	収入済額	契約済額(割合:%)	会計	予算現額	収入済額	契約済額(割合:%)
国民健康保険	1,958,122	750,832	1,010,187 (51.6)	簡易水道	36,410	3,247	24,744 (68.0)
後期高齢者医療	250,636	82,810	82,796 (33.0)	農業集落排水	52,549	5,067	27,111 (51.6)
介護保険	1,493,244	541,690	613,093 (41.1)	漁業集落排水	1,816	227	441 (24.3)
介護サービス	6,001	2,789	4,515 (75.2)	地域下水道	676	151	281 (41.6)
土地取得	8,049	0	4,032 (50.1)	国民宿舎	6,532	3	1,182 (18.1)
駐車場	6,108	3,468	3,720 (60.9)	特別林野	940	160	377 (40.1)
小郡駅前第三土地区画整理	43,056	0	19,190 (44.6)	合計	3,864,139	1,390,444	1,791,669 (46.4)

■市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	833万3,579.09㎡
建物	67万8,551.35㎡
山林	2万2,786.11ha
立木	442万1,612㎡
有価証券	1億3,197万円
出資	10億2,609万8,498円
による権利	3,104.09㎡
債権	12億5,251万7,936円
(現金等)	179億3,622万7,936円
基金(土地)	12万6,931.52㎡

平成 23 年度決算に基づく

財政の健全性を示す指標の算定結果を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により算定した4つの「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表します。

健全化判断比率

実質赤字比率

一般会計等の赤字の程度を指標化したものです。この比率が大きいほど財政運営は厳しい状態です。山口市の一般会計等は、一般会計のほか、土地取得事業特別会計、地域下水道特別会計、特別林野特別会計の合計となります。

山口市の状況は？

市の収支決算は黒字（約 8 億円）です。

早期健全化基準 11.33 %

財政再生基準 20.00 %

— 赤字額は
ありません

連結実質赤字比率

一般会計等に水道事業や下水道事業などの全事業の会計を合算して、市全体の赤字の状況を指標化したものです。この比率が大きいほど財政運営は厳しい状態です。

山口市の状況は？

市全体の収支決算は黒字（約 27 億円）です。

早期健全化基準 16.33 %

財政再生基準 30.00 %

— 赤字額は
ありません

実質公債費比率

市がその年に支払う借入金の返済額を指標化したもので、3年間の平均で比率を算出します。この比率が大きいほど資金繰りが厳しい状態です。

山口市の状況は？

比率の数値は良好です。

早期健全化基準 25.00 %

財政再生基準 35.00 %

11.0%

将来負担比率

市が将来負担しなければならない借入金などの状況を指標化したものです。この比率が大きいほど将来の市の財政を圧迫することが見込まれます。

山口市の状況は？

比率の数値は良好です。

早期健全化基準 350.0 %

63.2%

資金不足比率

資金不足比率

事業収入を元に、独立採算を原則として経営する公営企業*について、資金不足額と収益とを比較して指標化したものです。

山口市の状況は？

資金不足はありません。

経営健全化基準 20.00 %

— 資金不足は
ありません

早期健全化基準

財政の悪化が警告段階であることを示す基準

健全化判断比率の指標のうち、1つでもこの基準以上となった場合には「財政健全化団体」となります。この場合、財政健全化計画を定め、自助努力で財政の健全化に取り組むこととなります。

財政再生基準

財政が破綻状態であることを示す基準

健全化判断比率の指標のうち、さらに状況が悪化して、1つでもこの基準以上となった場合には「財政再生団体」となります。この場合、財政再生計画を定め、国の監督を受けながら財政の再生に取り組むこととなります。

経営健全化基準

早期に経営健全を図る必要があることを示す基準

資金不足比率が、経営健全化基準以上となった場合には「経営健全化計画」を策定し、自助努力で経営健全化を進めることとなります。

*公営企業…水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、国民宿舎事業、小郡駅前第三土地区画整理事業、簡易水道事業をいいます。

指標の結果から見えること

本市はすべての指標において基準を下回っており、財政の健全化が保たれています。

今後も分析を継続しながら、安定した財政運営に努めていきます。

●市ウェブサイト（表紙参照）でも今回の公表内容や、過去の公表などをご確認いただけます。ぜひご覧ください。

山口市 財政

検索

市政トピックス

「平成24年第5回市議会定例会」を開催

9月3日から24日の間、「平成24年第5回市議会定例会」を開催しました。

市長は、本市出身選手のロンドンオリンピックでの活躍や、都市計画道路御堀平井線の供用開始について、食と地域のプラン



定例会の様子

ド形成事業の取り組みなど、市政の概況について報告しました。

また市長からは、平成24年度市一般会計補正予算や、市名譽市民条例、大内中学校校舎増改築工事の請負契約の締結についてなど、19件の議案が提出され、審議の結果、すべて可決、認定されました。

市議会事務局

(☎0883-934-28054)

湯田中学校体育館竣工記念式典を開催

9月21日、施設の老朽化への対応と耐震性確保のため工事を進めていた、湯田中学校体育館が完成し、記念式典を開催しました。

式典で副市長は「この新しい体育館で心も体も鍛え、有意義な中学校生活を送ってください。また、皆様から支えられ、地域の新たな拠点として愛される施設になってほしいと思います」と述べました。

新しい体育館は、鉄筋コンクリート造2階建て



あいさつする副市長

1499㎡の延べ床面積となつています。災害時の避難施設としての機能も有することから、建替前と比較して面積を約23倍に拡大しています。



完成した体育館

市では今後も、子どもたちが安全・安心な環境で学ぶことができるよう、地域の教育施設を積極的に整備していきます。

市教育施設管理課

(☎0883-934-28060)

「宮野地区コミュニティタクシー」新ルートで実証運行

10月1日、宮野地区を運行するコミュニティ交通「宮野地区コミュニティタクシー（宮野コミタク）」が新ルートでの実証運行を始めました。

これは、地域の皆さんの要望を受け、事業主体である「宮野地区コミタク運行協議会」が中心となり、新たに上恋路と中恋路町内を経由するルートを設定されたものです。

初乗りした市長は、出迎えた地元住民の皆さんに「皆さんでこの宮野コミタクをご利用いただき、みんなで守り育てていこう」と述べました。

市では今後も、公共交通体系の整備・拡充を図ることで、交通不便地域の解消や高齢者等の移動制約者の移動手段確保のため、将来にわたり持続可能な公共交通の構築に努めていきます。

市交通政策課

(☎0883-934-27266)



愛称は「宮野コミタク」

山口鷺流狂言保存会がサントリー地域文化賞受賞を報告

10月1日、山口鷺流狂言保存会の樹下会長と米本さんが、サントリー地域文化賞の受賞を市長に報告されました。

市長は「鷺流狂言は、本市の誇りです。稽古時間の確保や後継者の育成など、苦勞も多いでしょうが、今後も、山口の文化の一翼を担ってください。」とお祝いを述べました。



左から米本さん、樹下会長、市長、教育長

樹下代表は「今回の受賞を機に、さまざまな形で鷺流狂言を皆さんに広げていきたい」と抱負を述べられました。同賞は、これまで県内で4件の受賞があり、市内では初めてとなります。また、狂言単独での受賞は全国初の快挙です。市では、引き続き、伝統文化の継承を支援していくとともに、皆さんが伝統文化に触れることができる機会を提供していきます。

市文化財保護課

(☎0883-920-4111)

新成人のみなさんへ

平成25年山口市成人式のお知らせ

■日時 平成25年1月13日(日)

式典 14時から

■場所 市民会館

■対象 平成4年4月2日
～平成5年4月1日の
間に生まれた方

■送迎バスの申込期限
12月10日(月)



昨年度の様子

- ・案内状は、11月1日現在の住民基本台帳を基に送付します。他市町村に住民登録している参加希望者へご連絡ください。また、障害のある方で、出席に不安のある方はご相談ください。
- ・当日は、送迎バス(片道利用可、要申し込み。大殿、白石、湯田は対象外)を運行します。(右上表参照) また、地域別に会場で記念写真を撮影します。(右下表参照)
- ・中心商店街等で開催する、新成人の門出を祝うイベントにもご参加ください。

●申し込み・問い合わせ

市社会教育課 (☎ 083-934-2865)

送迎バス出発時刻

コースおよび地域	時間		出発・到着場所
	往路	復路*	
A 小鯖 大内	12:10	16:00	小鯖地域交流センター 大内地域交流センター
	12:25		
B 陶 名田島	12:00	16:00	J A陶支所 東開作バス停
	12:10		
C 佐山 嘉川	11:40	15:50	佐山駐在所前 嘉川地域交流センター
	11:50		
D 秋穂 秋穂二島	12:05	15:50	秋穂総合支所 二島小学校前バス停
	12:15		
E 阿東	12:30	15:45	J A阿東支所 道の駅 長門峡
	12:45		
F 徳地 仁保 宮野	12:45	15:55	徳地域交流センター 道の駅 仁保の郷 J A宮野支所
	13:05		
	13:20		
G 阿知須 大歳 吉敷	12:20	15:45	阿知須地域交流センター 大歳地域交流センター 吉敷地域交流センター
	13:00		
	13:15		
H 鑄銭司 小郡 平川	12:35	15:55	鑄銭司地域交流センター 小郡ふれあいセンター J A平川支所倉庫
	12:50		
	13:10		

*復路は市民会館発の時間。往路と同じ場所に停車

記念撮影時刻 (左列:式典前、右列:式典後)

時間	地域	時間	地域
12:20	大殿、湯田	14:40	小郡、阿知須、徳地、阿東
12:40	白石、嘉川、佐山	15:00	吉敷、大歳、鑄銭司、秋穂二島
13:00	大内、陶、名田島	15:20	仁保、宮野、平川
13:20	小鯖、秋穂		

*式典は14時～14時30分



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

エコフェア 2012 in UBE

■日時 11月18日(日) 10時～16時

■場所 ときわ公園(宇部市則貞三丁目4-1)

■内容 環境技術の展示販売、環境活動や研究の紹介、エコカーの展示、段ボールコンポスト展示販売、おもしろ自転車乗り場、古紙重量当てクイズ、子どもエコビンゴ大会、スタンプラリー抽選会、牛乳パックによるエコ帽子作り、分別戦隊護美レンジャーショー、地産食材を使った飲食店、地元特産品の販売など

※マイボトル、マイ箸、マイバックをご持参ください。マイカーでお越しの場合、カーボン・オフセットの取り組み「エコハちゃん」として100円の寄付をお願いします。

■問い合わせ 宇部市環境政策課 (☎ 0836-34-8249)



防府市

豪華景品を当てよう! 防府観光おもてなしキャンペーン

防府市内の下記観光地等を利用すると、1カ所につき抽選券を1枚(防府市内定期観光バスは、1回の乗車で4枚)進呈します。その抽選券をまちの駅「うめてらす」に持参すると、くじが引けます。

■抽選期間 11月1日(木)～30日(金) 9時～18時

■抽選場所 まちの駅「うめてらす」(防府市松崎町1-20)

■対象観光地等

- ・防府市内定期観光バス(土・日曜運行)
- ・防府市青少年科学館ソラール
- ・太平山ロープウェイ(乗車または年間パスポート券購入)
- ・三田尻塩田記念産業公園
- ・月の桂の庭(11月10・11日のみ)

※有料で入館、入園、乗車した人に抽選券進呈

■問い合わせ 防府市観光振興課 (☎ 0835-25-4547)



市内の魅力を紹介します。

山口市

阿知須 「廻船のまちアートギャラリー」

秋深まる11月、江戸から明治時代にかけて廻船のまちとして栄え、居蔵造と呼ばれる白壁の町並みが残る「阿知須」ではイベントが盛りだくさん。この機に阿知須の町並みや「道の駅きららあじす」で地域の特産品をご堪能ください。

■内容 家庭に伝わるお宝の展示やアート活動団体の作品展示など



■場所 阿知須商店街～阿知須「いぐらの館」付近

同時開催【あじすふれあいまつり】

■内容 文化披露ステージ、バザー、阿知須特産品の特別販売など

■場所 JR阿知須駅前広場・駅通り

◆いずれも

■日時 11月11日(日) 9時～15時

■問い合わせ 実行委員会事務局(阿知須地域交流センター内) ☎ 0836-65-2022)

第9回中央図書館まつりを開催 [11/17 (土) 10時～15時30分]

ブックリサイクルや子どもスタンプラリーなど楽しめるイベントが盛りだくさんです。

■場所 市中央図書館周辺

■問い合わせ 市中央図書館 (☎083-901-1040)

お知らせ

Information

四種混合ワクチンの接種開始

11月1日から、これまでの三種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンを加え、四種混合ワクチンとして接種を開始します。

接種対象者

生後3カ月～7歳6カ月未満の子

接種回数

これまでのポリオワクチンおよび三種混合ワクチンの接種状況により、四種混合ワクチンの接種回数等が異なります。接種については、かかりつけ医にご相談ください。

また、実施医療機関等の詳細については、市ウェブサイトを(表紙参照)に掲載しています。

■市保健センター
(☎0833-921-2666)

全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間

配偶者・パートナーからの暴力や職場におけるセクシユアル・ハラスメン

ト、ストーカー行為といった、女性をめぐる人権問題について相談をお受けします。ひとりで悩まず電話してください。(無料、秘密厳守)

■期間 11月12日(月)～18日(日)

■時間 平日：8時30分～19時/土・日曜：10時～17時

■相談電話 ☎0570-070-810

■山口地方務局人権擁護課
(☎0833-922-2206)

「虐待かもしれない」ためらわずお電話を

「気づくのはあなたと地域の心の目」

11月は「児童虐待防止推進月間」

虐待を防止するためには、地域社会全体で虐待のサインを見逃さずに早期発見、早期対応することが重要です。虐待を受けたと思われる子どもを見つけた時は、ためらわずお電話をお願いします。間違っても構いません。連絡者のプライバシーは守られます。

連絡先

・県中央児童相談所
(☎0833-922-7511)

● 山口総合支所	〒753-8650	龜山町2-1	☎0833-922-4111
● 小郡総合支所	〒754-8511	小郡下郷609-1	☎0833-973-2411
● 秋穂総合支所	〒754-1192	秋穂東6570	☎0833-984-2121
● 阿知須総合支所	〒754-1292	阿知須2743	☎0836-65-4111
● 徳地総合支所	〒747-0292	徳地堀1744	☎0835-52-1112
● 阿東総合支所	〒759-1512	阿東徳佐中3417-2	☎0833-956-0111

動脈硬化予防教室 (小郡)

動脈硬化予防についての正しい知識を学び、生活習慣を見直す機会として役立てましょう。

【1回目】

■日時 11月29日(木)13時30分～15時

■内容 講話「ストップ!動脈硬化」病気の成り立ちから予防方法について

■講師 吉金秀樹氏(よしかね循環器内科院長)

■持参品 筆記用具

【2回目】

■日時 12月6日(木)10時～11時30分

■内容 健康づくりのための運動に関する講話と実技

■講師 坂本あさ美氏(健康運動実践指導者)

・市子ども家庭課家庭児童相談室
(☎0833-934-2806)
※重度の虐待で緊急性がある場合や夜間は、警察署(110番)へ通報を
■市子ども家庭課
(☎0833-934-2960)

大内氏館跡 第37次調査現地説明会

調査では、石組水路や方形石組が検出されたほか、館跡で4例目の庭園跡が発見されました。

当日は調査担当者から調査成果を説明するとともに調査状況をご覧いただきます。(無料、申込不要)



発見された庭園跡

■日時 11月10日(土)10時～12時(雨天決行)

■場所 大内氏館跡第37次発掘調査現場(龍福寺へ大殿大路1-9)そば

■市文化財保護課
(☎0833-920-4111)

県指定無形文化財「鷺流狂言」の公演をお楽しみください。(入場無料、申込不要、定員500人)

■日時 11/17(土) 14時～16時(開場は13時30分) ■場所 県教育会館(大手町2-18)
 ■演目 輝り、颯果、舎弟、宮城野 ■問い合わせ 山口鷺流狂言保存会事務局(市文化財保護課内 ☎ 083-920-4111)

保育講演会の開催

地域に根ざした保育所は、子ども、保護者、保育士が共に育ち合う場です。未来(あす)の保育所に求められるものについて一緒に学んでみませんか。

■日時 11月17日(土) 14時～16時
 ■場所 大海総合センターらんらんドーム(秋穂東1-30-5)
 ■テーマ 「保育所(園)の使命と地域社会での役割」保育制度改革をうけて」
 ■講師 櫻井慶一氏(文教大学人間科学部教授)
 ■定員 市内の保育所にお勤めの方または保育士資格をお持ちの方300人

人(申込不要)
 ■参加費 無料
 ■市子ども家庭課
 ☎0833-9334-2798

嘉川悠々ふるさとウォーキング

嘉川地域交流センターの落成を記念して、嘉川地区の12kmをウォーキングします。(小雨決行)

■日時 11月18日(日) 9時～14時
 ■集合場所・時間
 A 山口総合支所前庭: 8時20分(バスで嘉川地域交流センターまで移動)
 B 嘉川地域交流センター: 9時
 ■定員 90人(小学生以下は要保護者)

同伴)
 ■持参品 飲み物、弁当
 ■参加費 1人100円(バス利用者のみ)
 ■申込 11月14日(水・必着)まで、ハガキ、FAX、Eメールで、〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号、集合場所(AまたはB)を明記の上、市生涯学習・スポーツ振興課(山口総合支所 ☎0833-9334-2874 FAX0833-9334-2090)
 ☎s-sinko@city.yamaguchi.lg.jp)

ルーラル315・376フェスタ

地域の特産品を生かした「食」を通じて、生産者と消費者が交流するイベントです。

■日時 11月10日(土)、11日(日) 9時30分～15時
 ■場所 嘉年かあちゃんのふれあい広場(阿東嘉年)、道の駅「仁保の郷」(仁保中郷)、山里農産加工販売所(徳地柚木)、南大門(徳地堀)、口ハス島地温泉(徳地島地)

■内容 おこわ、特産力鍋、うどんバザール、松茸ご飯、松茸汁、地元産黒毛和牛串焼き、焼きまんじゅう等の販売、田舎汁の無料配布など
 ※各会場で内容が異なります。
 ■その他 国道315号・376号沿線の各朝市、直売所で、特産品の販売

売や抽選で地域特産品が当たるスタンプリー等のイベントを開催
 ※内容等の詳細は、市ウェブサイト(表紙参照)で確認、またはお問い合わせください。
 ■市農業振興課
 ☎0833-9334-28015

収穫祭&第2回餅ひろい世界選手権参加者募集

【収穫祭】
 農園で収穫した野菜や米によるカレーライスの調理と、うすときねで餅つきをします。
 ■日時 11月23日(金・祝) 9時30分～12時30分
 ■定員 1000人

【第2回餅ひろい世界選手権】
 刈り取りの終わった田んぼで餅ひろいをし、拾った重量を競います。
 ■日時 11月23日(金・祝) 13時～15時
 ■定員 1500人

■いづれも
 ■場所 阿東ふるさと交流促進センター(阿東徳佐中36288)
 ■参加料 中学生以上500円、小学生300円、幼児100円、3歳未満無料
 ■申込 11月16日(金)までに阿東ふるさと交流促進センター(☎0833-9566-2194)または、あとう観光協会(☎0833-9566-2020)

C・S赤れんが開館 20周年記念事業

【田口克己回顧展 ～“感動できる心の受け皿”をみがき続けた画家70年の軌跡～】
 教職の傍ら画家として制作に励み、美術教育にも情熱を注いだ故田口克己氏の絵画約40点を展示します。
 ■日時 11月21日(水)～12月2日(日) 9時～17時 ※26日(月)は休館
 ■入場料 無料
 【ワークショップ参加者募集】
 地元アーティストによるワークショップを行います。
 ■日時・内容
 ①11月27日(火) 13時～16時…真ちゅうを使ったアクセサリー作り/②11月28日(水) 10時～12時…無垢材を使った時計作り
 ■講師
 ①…佐伯和章氏(第3回やまぐちACS賞受賞、彫金作家)/②…平川和明氏(第1回やまぐち新進アーティスト大賞受賞、家具職人)
 ■材料費 ①…1,500円/②…2,000円
 ■定員 各回10人(先着順)
 ◆いづれも
 ■場所・申し込み・問い合わせ
 電話、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで、参加希望日、〒住所、氏名、電話番号を記入の上、C・S赤れんが(中河原町5-12 ☎083-928-6666)

今回の行程 (時刻表は10月時点)

- 11:18 新山口発
- 11:37 湯田温泉発
- 11:41 山口到着
- 11:53 山口駅発
- 12:24 長門峡駅着
～長門峡散策～
- 15:26 長門峡駅発
- 15:53 山口到着
- 15:55 山口駅発
- 15:59 湯田温泉駅発
- 16:17 新山口到着



湯田温泉駅の足湯

山口駅では、駅員さんに構内の飲食店などを利用したい旨を伝えると、一時的に改札を出ることができます。



長門峡駅の駅舎

ホーム向かいの接続列車に乗り継ぎ

■観光りんご農園(11月末まで開園)に行く場合は…鍋倉駅(阿東徳佐)が便利です。
※新山口駅からの所要時間 直通で約1時間20分



大きな看板が目印



湯田温泉の駐輪場では、昨年、駐輪場も整備され、サイクル・アンド・ライドの利便性もアップしています。

また、湯田温泉駅では、昨年、駐輪場も整備され、サイクル・アンド・ライドの利便性もアップしています。



急勾配が続くため、大量の蒸気を使う機関車に水を補給していた篠目駅の給水塔。(現在は使われていません。)数年前にはドラマのロケ地にもなり、近代産業遺産としても注目されるスポットです。

新山口駅から宮野までの区間は市街地や住宅地を軽快に走り抜けますが、宮野駅を出ると高低差200メートル以上ある山間部に入るため、ディーゼルエンジンは全開。車窓からは普段眺めることのできない風景を楽しむことができます。豪快なエンジン音を聞きながら、いくつものト

事前に時刻表をチェック

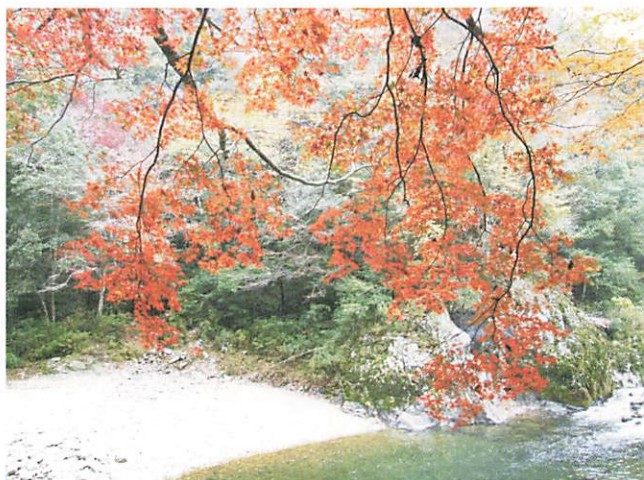
急勾配を駆け登れ!



やまぐち
ちよい旅

ローカル線で行く 渓谷と紅葉の絶景 長門峡へ

秋の観光シーズン真っ盛り。今回のちよい旅は、山口市を縦断し、通勤通学の足として親しまれるJR山口線に乗って、阿東地域の名勝・長門峡へ向かう旅をご紹介します。
■市広報広聴課(☎083・934・2753)



紅葉の見ごろは例年11月上旬。色づきは、あとう観光協会(☎083-956-2526)までお問い合わせください。

「渋滞しらず」の列車旅

駅から長門峡入口までは5分程度。長門峡散策はフルコースで約1時間30分かかるので、列車の時刻とお土産を買う時間を考えて時間を配分。道の駅「長門峡」には阿東の旬の食材がたくさん並んでいました。行楽シーズンの週末ともなると、沿線の道路や駐車場は混雑しがちです。ローカル線は乗り継ぎなどちょっとした手間がありますが、渋滞を横目にスイスイと、いつもと違う工コな旅。ちょっと出かけてみませんか?



話題のカンブツも道の駅で販売中。軽くてお土産に最適!

表紙写真から
大きなりんご採れたよ!!
「あとう観光りんご園」

表紙の写真は、10月の過ぎしやすく心地よい陽気の中、家族連れでリンゴ狩りを楽しんでいる様子です。

阿東地域は、西日本最大の観光りんご園が広がり、ふじやぐんま名月、むつなど多くの品種のりんごを採ることができます。この時期は、「長門峡」の紅葉も見ごろを迎え、例年市内だけでなく、県外からも多くの観光客が訪れ、地域はにぎわいます。

この日も、多くの家族連れがりんご園を訪れており、一所懸命手を伸ばし、りんごを採っている子どもたちの姿をあちこちに見ることができました。

11月下旬まで楽しむことができます。その他にも本市には、一年を通じてさまざまな体験ができます。

今後も体験観光の推進などにより、交流人口の増加を図り、地域の活性化を進めていきます。

問い合わせ 市観光課
☎083・934・2810

「あとうのりんご」

「第6回ぼく・わたしのお料理コンクール」入賞作品
野菜たっぷり朝食レシピ～主食・副菜の部～

野菜炊き込みカレーごはん

炊飯器1つでできるとは思えないくらい豪華な仕上がりに感激!



材料・分量 (4人分)

米	2合
湯	380ml
固形コンソメの素	1個
カリフラワー	1/4個
ミニトマト	6個
にんじん	1/3本
黄パプリカ	1/2個
たまねぎ	1/6個
ソーセージ	3本
カレー粉	大さじ1
塩	小さじ1
こしょう	少々
サラダ油	小さじ2
パセリ	少々
レモン(スライス)	4枚

1人分 371kcal

作り方 [調理時間] 約 20 分 (炊飯時間を除く)

- ① 米は炊く30分前に洗い、ざるにあげて水をきる。湯380mlに固形コンソメの素を溶かして冷ましておく。
- ② カリフラワーは小房に分け、ミニトマトはへたを取る。にんじんは輪切りにし、黄パプリカは種を取って2cm角に切る。たまねぎはみじん切りにし、ソーセージは1cm幅の小口切りにする。
- ③ 炊飯器に①とAを入れ混ぜ合わせ、②を加えて軽く混ぜて普通に炊く。
- ④ 炊き上がったら、さっくりと混ぜて器に盛り、パセリを小さくちぎって散らし、レモンを添える。

レシピ考案者はこちら!



あさかわゆたか

阿知須中1年 浅川豊さん

※受賞当時(平成23年12月時点)のものを掲載

コンクール出品時の料理の写真はお父さんが撮ってくれました。家族が協力して完成したレシピです。ぜひ料理してみてくださいね。

栄養士さんのワンポイントアドバイス

カリフラワーは、疲労回復や美肌作りに欠かせないビタミンCが豊富です。茎の部分にも多く含まれているので、捨てずに使いましょう。

(市管理栄養士 油利奈菜)



次回予告

次回12月1日号では、山口地域の特産品「はなっこりー」を使った料理のレシピをご紹介します。

■問い合わせ 市健康増進課 (☎ 083-921-2666)

イベントカレンダー



11月

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)	開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 実行委員会(電話番号)	開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 実行委員会(電話番号)
	廻船のまち阿知須一海と防災デザイン (阿知須) 阿知須「いぐらの館」 (☎ 0836-65-2403)	第28回あいお祭り (秋穂) 実行委員会 (☎ 083-984-5333)		市民ギャラリー「日本画グループ江山会・お祝いの会～山口の秋を彩る～」 (～18日) (大殿) 市菜香亭 (☎ 083-934-3312)	
	企画展「山口の連歌と俳諧一宗祇から菊舎まで」 (～18日) (大殿) 市歴史民俗資料館 (☎ 083-924-7001)	4 (日)	第40回あいお花火まつり (秋穂) 山口県央商工会秋穂支所 (☎ 083-984-2738)	16 (金)	山口鷺流狂言保存会定期公演 (大殿) 山口鷺流狂言保存会事務局 (☎ 083-920-4111)
1 (木)	企画展Ⅱ「中也の父・謙助」 (～平成25年3月24日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)		第40回仁保大農業まつり (仁保) 実行委員会 (☎ 083-929-0125)		
	長門峡「もみじまつり」 (阿東) 道の駅「長門峡」 (☎ 083-955-0777)	9 (金)	秋の久留米市田主丸植木まつり & JA全農やまぐち旬感フェスタ (～30日) (佐山) JAグリーンコアやまぐち (☎ 083-988-0620)	17 (土)	第9回中央図書館まつり (白石) 市中央図書館 (☎ 083-901-1040)
	スペインフィエスタ (～4日) (白石) 実行委員会 (☎ 083-925-2300)		市民ギャラリー「第4回フレッシュフラワー&プリザーブドフラワーアレンジメント作品展～山口の秋を彩る～」 (～11日) (大殿) 市菜香亭 (☎ 083-934-3312)		第21回浜村杯秋穂ロードレース大会 (秋穂) 事務局 (☎ 083-984-2132)
3 (土・祝)	市民文化祭 (～4日) (白石) 山口文化協会事務局 (☎ 083-934-2718)	10 (土)	ルーラル315・376フェスタ (～11日) (阿東、徳地、仁保) 市農業振興課 (☎ 083-934-2815)	18 (日)	山口天神祭 (白石) 山口商工会議所 (☎ 083-925-2300) 古熊神社 (☎ 083-922-0881)
	ヤマグチナンブ9スタンプラリー (～25日) (南部地域) 市南部振興局 (☎ 083-973-2475)			23 (金・祝)	シクラメン祭り (阿東) 道の駅「長門峡」 (☎ 083-955-0777)
		11 (日)	廻船のまちアートギャラリー (阿知須) 実行委員会 (☎ 0836-65-2129)	25 (日)	

山口市長
渡辺純忠

日(日)に秋が深まってきました。色とりどりの紅葉が美しい季節となりました。10月27日から11月9日まで読書週間です。山口市でも本に関するいろいろなイベントを実施いたします。私も時間をみつけては読書を読みますが、特に歴史書が好きです。読んでいますと物語の情景が頭の中に鮮明に浮かび、さらに自分がその時代にタイムスリップしたかのように感じます。ついつい時間が経つのを忘れてしまいます。活字離れ、読書離れが進んでいると言われることもありますが、本を読むことは、知識や教養を深めるだけでなく生活を楽しく、豊かにしてくれます。時には自分の人生に大きな影響を及ぼすような大切な冊に出会うこともあります。

山口市は6つの市立図書館と各地域交流センターにも図書室を設けています。今年度中には蔵書数を60万冊とし、「日本一の本を読むまち」を目指しています。お子さまから大人の方まで大いに図書館を活用していただき、読書の秋を満喫していただきたいと思えます。



あしたへ
トライ
読書の秋